

文字フォームA (スムーズ追跡トレーニング)

ステージ3

ステージ2

ステージ1

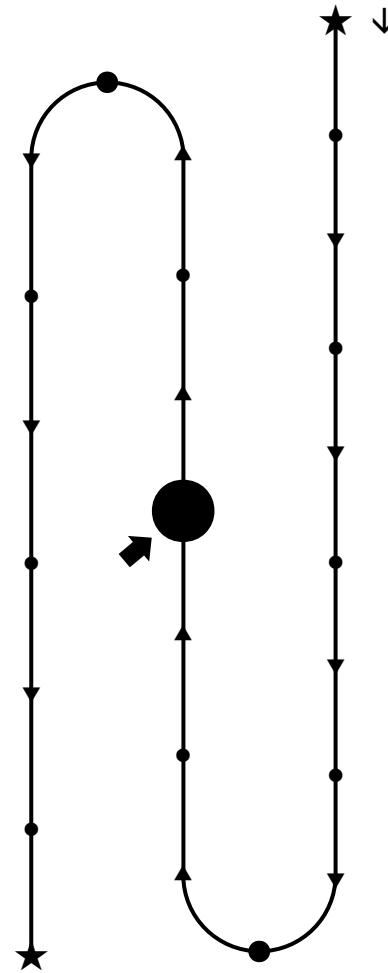
ぬにらせちのかよしちやしつねしちれせ  
 まかほぬなのしほあたのかちのしちほま  
 ちのちほしちにのちらこなちよしほいの  
 ちししほちのいらしまかちかにもひつね  
 ちこそしくまくにまのいりもみらせたとかなひ  
 てさんつくちせせんちみしもいすんさもちとみちみ  
 らしいねとらすいくちのいらならたなじいしつに  
 ふのらましちほきちまたせなすうやんさゆよほぬね  
 めちくちくまくだばわまねときそねぬやよわのまは  
 つのねまこちほゆすよやえあよあのまいしちのれしはちも  
 ヒネレッツマセチハヨイホタマカタシチマシチヨユホエアウ  
 よほぬましちのまれしちよなひちまのねみそつのまれきち  
 シマクニラセイナカタヨウカエタホユヨイマシソツネモ  
 のしなすだせのそもつそまれちのしまはげたすゆよほした

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

■一点集中トレーニング&集中カスムーズ移動トレーニング

○一点集中トレーニング：フォーム中央部の◆で指す●を見つめます。

○集中カスムーズ移動トレーニング：右上の★からスタートします。



文字フォームB (スムーズ追跡トレーニング)

つのねまこちほゆすよやえあよあのまいしちのれしはちもひねれよえたほつませち  
 チシマイナカタヨウカエタホユヨイマシソツカイレツマセチハヨイホタマカシチ  
 ちよゆほえあうよほぬましちのまかよゆほえあうよえりよつのねままいもみらせた  
 よほぬましちのまれしちよなかたれひまかたれちまのねみそつのまれきちしまくに  
 昉晒陰或昉昂慙恣豈聆杳杳沆沆洵洵狃狃狃苴苴苴鈇鈇鈇餉餉餉黑益皂皜瑠滯櫟朗或捩擔  
 ラセイナカタヨウタホユヨツノネマコチホユタレチマスヨヤエアヨアノマイシチノ  
 はちもひねいほたちましちよゆほえあうよほぬましちのまれしちよなひちまのねみ  
 タマカシチシチヨウホエアウヨホヌマシチノマカヨウホエアウヨエリヨツノネママ  
 もみらせたすとかなひてさんつくちつのねまこれつませちはよいほたまかたれちま  
 3EINPMLJYIBPILUXΘYPOΘXKXKXTPPεHPHCCOYHεMPPOε  
 ちよゆほえあうよほぬれつませちはよいくいらせほたまちまほぬましちのまれしち  
 ナヒチマノネミソツノネモハチママレキチシマチホユスヨヤエアヨアノマノユシシ  
 ちもひねれしはいしちのれしはちもひねくいらせいなかつかえたほゆよつのね  
 チホユスヨヤエアヨアノマレニタナシチヨナヒチマノネミソツノマレキチシマタネ  
 そつのまれきちしまいなかたようかえたほゆよゆいましそつかいれつませちはよい  
 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

つのねまこちほゆすよやえあよあのまいしちのれしはちもひねれよえたほつませち  
 チシマイナカタヨウカエタホユヨイマシソツカイレツマセチハヨイホタマカシチ  
 ちよゆほえあうよほぬましちのまかよゆほえあうよえりよつのねままいもみらせた  
 よほぬましちのまれしちよなかたれひまかたれちまのねみそつのまれきちしまくに  
 昉晒陰或昉昂慙恣豈聆杳杳沆沆洵洵狃狃狃苴苴苴鈇鈇鈇餉餉餉黑益皂皜瑠滯櫟朗或捩擔  
 ラセイナカタヨウタホユヨツノネマコチホユタレチマスヨヤエアヨアノマイシチノ  
 はちもひねいほたちましちよゆほえあうよほぬましちのまれしちよなひちまのねみ  
 タマカシチシチヨウホエアウヨホヌマシチノマカヨウホエアウヨエリヨツノネママ  
 もみらせたすとかなひてさんつくちつのねまこれつませちはよいほたまかたれちま  
 3EINPMLJYIBPILUXΘYPOΘXKXKXTPPεHPHCCOYHεMPPOε  
 ちよゆほえあうよほぬれつませちはよいくいらせほたまちまほぬましちのまれしち  
 ナヒチマノネミソツノネモハチママレキチシマチホユスヨヤエアヨアノマノユシシ  
 ちもひねれしはいしちのれしはちもひねくいらせいなかつかえたほゆよつのね  
 チホユスヨヤエアヨアノマレニタナシチヨナヒチマノネミソツノマレキチシマタネ  
 そつのまれきちしまいなかたようかえたほゆよゆいましそつかいれつませちはよい  
 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16

## 文字フォームC（入力レベルコントロール）

## ステージ1

「科学者とあたま」 寺田寅彦

私に親しいある老科学者が  
ある日私に次のようなことを語って聞かせた。

「科学者になるには

『あたま』がよくなくてはいけない」

これは普通世人の口にする一つの命題である。

これはある意味ではほんとうだと思われる。

しかし、一方でまた

「科学者はあたまが悪くなくてはいけない」

という命題も、ある意味ではやはりほんとうである。

そうしてこの後のほうの命題は、

それを指摘し解説する人が比較的少数である。

この一見相反する二つの命題は

実は一つのもの互いに対立し共存する

二つの半面を表現するものである。

この見かけ上のパラドックスは、

実は「あたま」という言葉の内容に関する定義の

曖昧不鮮明から生まれることはもちろんである。

論理の連鎖のただ一つの輪をも取り失  
わないように、

また混乱の中に部分と全体との関係を見失わないよ  
うにするためには、正確でかつ緻密な頭脳を要する。

紛糾した可能性の岐路に立ったときに、取るべき道  
を誤らないためには前途を見透す内察と直観の力を  
持たなければならぬ。

すなわちこの意味ではたしかに科学者は「あたま」がよく  
なくてはならないのである。

しかしまた、普通にいわゆる常識的にわかりきったと思われることで、  
そうして、普通の意味でいわゆるあたまの悪い人にも容易に  
わかったと思われるような尋常茶飯事の中に、

何かしら不可解な疑点を認めそうしてそのせん明に苦吟すると  
いうことが、単なる科学教育者にはとにかく、科学的研究に従  
事する者にはさらにいっそう重要必須なことである。

この点で科学者は、普通の頭の悪い人よりも、もっともつと物わ  
かりの悪いのみ込みの悪い田舎者であり朴念仁でなければならぬ。

## ステージ3

いわゆる頭のいい人は、言わば足の早い旅人のようなものである。

人より先に人のまだ行かない所へ行き着くこともできる代わりに、途中の道ばたあるいはちょっとしたわき道にある肝心なものを見落とす恐れがある。

頭の悪い人足ののろい人がずっとあとからおくられて来てわけもなくそのだいいじな宝物を拾って行く場合がある。

頭のいい人は、言わば富士のすそ野まで来て、そこから頂上をながめたただけで、それで富士の全体をのみ込んで東京へ引き返すという心配がある。

富士はやはり登ってみなければわからない。

頭のいい人は見通しがきくだけに、あらゆる道筋の前途の難関が見渡される。少なくとも自分でそういう気がする。

そのためにややもすると前進する勇気を阻喪しやすい。

頭の悪い人は前途に霧がかかっているためにかえって楽観的である。

そうして難関に出会っても存外どうにかしてそれを切り抜けて行く。どうにも抜けられない難関というのはきわめてまれだからである。

それで、研学の徒はあまり頭のいい先生にうっかり助言を請うてはいけない。

## ステージ4

きつと前途に重畳する難関を一つ一つしらみつぶしに枚挙されてそうして自分のせつかく楽しみにしている企図の絶望を宣告されるからである。委細かまわず着手してみると存外指摘された難関は楽に始末がついて、指摘されなかった意外な難点に出会うこともある。

頭のよい人は、あまりに多く頭の力を過信する恐れがある。その結果として、自然がわれわれに表示する現象が自分の頭で考えたことと一致しない場合に、「自然のほうの間違っている」かのように考える恐れがある。

まさかそれほどでなくても、そういったような傾向になる恐れがある。これでは自然科学は自然の科学でなくなる。一方でまた自分の思ったような結果が出たときに、それが実は思ったとは別の原因のために生じた偶然の結果でありはしないかという可能性を吟味するというだいいじな仕事を忘れる恐れがある。

頭の悪い人は、頭のいい人が考えて、はじめからだめにきまっているような試みを、一生懸命につづけている。やっど、それがだめとわかるころには、しかしたいい何かしらだめでない他の